

主 内 容

会長挨拶	1面
私の近況報告	1・2面
地の塩	1面
平沢勝栄代議士を囲む会	2・3面
会員の声	4面
事業報告	4面
コーヒーブレイク	4面



葛歯連盟広報

発行所

葛飾区歯科医師連盟

東京都葛飾区青戸7-1-20

電話 03(3602) 0648・(3603) 2691

編集発行人 福田徳治

印刷所 一世印刷株式会社

歯科医療の現状について

―高齢化社会と歯科の必要性―

葛飾区歯科医師連盟会長 福田 徳 治



二〇〇八年後半に起きたアメリカのサブプライムショックで世界同時株安の渦中に日本も巻き込まれた。十月二十八日には、二十六年ぶりに日経平均株価は七千二百円を割り、この先、世界経済がどこまで悪化するか、国民の心配

は陰の極に達し、麻生首相も国会解散の時期に関しては、景気の回復の目安が出来てからと云わざるを得なくなってきた。アイスランドをはじめとして東欧諸国の国家破産もとりにたされてきた。一九二九年にアメリカで起きた世界大恐慌の再来である。歯科医療界は国家の経済変動に非常に左右される。一九八九年の日本経済は絶好調でバブルを迎えた時の歯科医療界は現在から思い出すと、信じられない

い程の好景気で歯学部にも優秀な学生が殺到した。土地の値段も暴騰し、株価も三万八千円まで上昇した。バブルとは常にこういう状態で、評論家を含めすべての人々は、この先、もっと値段が上ると信じたのである。このような状態が実はバブルであり、その先に地獄が待っているのである。経済の狂いからは誰ものがれることは出来ないのである。小泉内閣の時には国家財政

の借入金金は七百兆円に達し、財政削減の目的で社会保障費を毎年二千二百億円削減し、五年間で一兆一千億円の財政負担を軽減する政策が現在も続いている。これが医療、介護業者等の経営を苦しめている。特に歯科医院のここ数年の経営力の低下は、社会的評価の低下につながり、優秀な学生が他学部に移れてしまっている。今年は戦後初の歯科大学の応募者が定員に達しない大学が数校出てきた。平成二十一年にはさらに増加するものと予想される。この傾向は衛生士学校、技工士学校でも同様で、特に技工士学校においては定員の半分にも達していない。現在、海外に技工を発注する歯科医が年々増加しているときく。技工物には各種金属を使用するが、粗悪

な金属は身体に重大な障害を及ぼす。難治性皮膚病とされる掌蹠膿疱症やじんましん、アトピー性皮膚炎等はかなり割合で歯科金属が関与していると考えられている。厚生省や歯科医はこの点についても危機感を持たなくてはならない。高齢化社会が急速に進んでいる。高齢化率は現在二〇％位だが、二十年后には三五％位になり、医療費の著しい増加が予想され、二〇〇八年四月から別わくとして七十五歳以上を後期高齢者医療保険制度に加入することが実施された。この目的は医療費の削減だが、そのために安定期の長期入院患者を退院させる事によって、在宅医療を充実させ、現在三十三兆円にまで達している医療費を少しでも

減少させようとしている。現在健保組合の高齢者支援資金が年々増加し、その九割が赤字になっている。組合では医療機関へのチェックを益々強化させると主張している。世界に誇る日本の皆保険制度の将来に暗雲がたちこめている。在宅診療の増加は、当然、歯科の分野での訪問歯科診療の増加が予想され、行政、医師会、薬剤師会、施設、ケアマネ等との連携が益々必要になってくる。現在、医師会ではターミナルまでの健診をしている。歯科が全身の健康と密接に関与していることは常識になってきている。歯科医師会もターミナルまでの健診を実施することは、身体機能の向上、認知症の予防、免疫力の向上につながり、医学がこれ程に進歩し

ても一向に減少しない「ガン」の予防にもつながると思われる。これからの超高齢化社会では歯科医に益々活躍の場が与えられる社会でもある。在宅訪問歯科診療が普及し、摂食嚥下障害の研究、口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防には極めて有効な方法であることが普及すれば歯科治療の必要が益々高くなる。在宅訪問歯科診療では駐車許可証が一番必要である。特に二〇〇八年四月からは民間にも交通違反の取締が委託された。葛飾区歯科医師会ではなるべく容易に許可証が手に入るように配慮してあるので歯科医師会館に相談するとよい。むずかしい症例はタンポポに、かんたんな症例は個人ですることとを、これからの新しい診療形態にしたいものである。

地の塩

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じがあった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

私の近況報告

衆議院議員

平 沢 勝 栄



福田徳治会長はじめ葛飾区歯科医師連盟の皆様方には平素、地域住民の歯科保健医療の普及発展にご尽力下さり、この機会に心より敬意と感謝の念を表したいと思ひます。

さて本年は、「8020運動」が日本歯科医師会と厚生労働省の提唱でスタートしてからちょうど二十年目の節目の年に当たります。この間日本は急速に長寿化社会が進

み、そうした中で「八十歳で二十以上の歯を残し、健康で活動的な人生を送ろう」という目的で始められたこの「8020運動」は、広く国民に浸透し着実に成果をあげ、関係方面から高く評価されているところであります。

この「8020運動」は高齢化が更に進むことが予想されることから今後引き続き積極的に推進していかねばなりません。そのため昨年四月には「新健康フロンティア戦略」が策定され、「歯の健康力」を増進する各種事業が日本歯科医師会と厚生労働省によって取り組まれたところ

であります。また、自民党では、党社会保障制度調査会医療委員会の「歯科医療に関するプロジェクトチーム」が、昨年十一月に「中間とりまとめ」を策定しました。この「中間とりまとめ」は、I適切な診療報酬改定等の実現、II歯科医師の資質向上と需給対策、III「8020運動」等歯科保健対策、の三本柱からなっており、歯の健康力、介護予防力、子どもの健康力などについて家庭力、地域力を高め、日本の「健康国家への挑戦」を積極的に推進していくとするものであります。

この「中間とりまとめ」に基づいて、政府は、歯科医師の皆様のご要望に応えるべく、平成二十年度の診療報酬改定において、歯科診療報酬本体については＋〇・四二％と八年ぶりのプラス改定を行い、また歯科医師養成数については一〇％削減の早期実施などに積極的取り組み歯科医師需給の適正化を図っていく考えであります。因みに、人口十万人当たりの歯科医師数（医療施設従事者数）は、昭和四十五年の三五・二人から平成十八年には七四人と急増しています。この問題への対策として、平成十八年八月に、文科・厚生両大臣が、

①歯学部定員の二層の定員減を各大学に要請
②歯科医師国家試験の合格基準の引き上げ、について確

り、今後ともその実現に鋭意努めていきたいと考えております。あらためて申し上げるまでもなく、「歯の健康力」は、幼児期、学齢期、成人期、高齢期という私たちのライフサイクルの各段階において、健康づくりの基本であります。その意味で、一歳半検診、三歳児検診、幼稚園・保育園検診、学校検診、企業検診、還暦検診などにおいて「歯の健康力」の増進に平素より邁進されている貴葛飾区歯科医師連盟の皆様のご活躍、ご尽力に心から御礼を申し上げます。政府与党は、日本歯科医師会や、葛飾区歯科医師連盟の皆様と更に力をあわせて、歯科医療の重要性を訴え、誰もが歯の健康を通じて楽しい充実した人生を生み送れるよう今後ともできる限りの協力

を惜しまない決意です。併せて生涯を通じた口腔保健を推進するための法的基盤の整備をする観点から「口腔健康法」(仮称)の制定についてもご要望を頂いておりますが、この制定は国民の利益に通じることでもあり、今後その実現方に全力で取り組んでいきたいと考えております。

ところで国内問題に目をやりますと、安倍、福田内閣と二代続けて内閣が任期途中で退任し国民の皆さんに大変なご迷惑をおかけしました。心よりおわびを申し上げます。心

思います。昨年九月には新たに麻生内閣が誕生しましたが、この間、消えた年金などの問題、それに加えて、後期高齢者医療制度をめぐる問題やグリーンピアやマッサージチュア、天下りなどの行政のムダ遣い問題で私達は国民の

皆さんから厳しいご批判を頂きました。謙虚に反省し、改めるところは改めて行政改革を積極的に推進し、国民の信頼回復につとめていきたいと考えております。

経済面では、米国発の世界金融危機が、日本の金融情勢、実体経済にも多大な影響を与えました。

政府は、党と密接な連携のもと、世界金融危機の波及による日本経済の景気後退を阻止するために、「生活者対策」、〈中小企業対策〉、〈地方対策〉の三本柱からなる財政支出五兆円、事業規模二十七兆円の「追加経済対策」を策定しました。

そうした中で小泉内閣から続いてきた社会保障費の年二千二〇〇億円の圧縮については皆さんから厳しいご批判を

受けた。作製した精子と卵子で受精卵を作ることには委員間で賛否が分かれ、今後さらに審議するところ。到頭というかついにというか、人類はふみこんではいけない領域に向って進発進行するのか。アンチエイジングの世界では人間の寿命は二百歳と云われている。今や宗教も哲学も、その

レーゾン・デットルを失しない、社会秩序そのものが変質を余儀なくされること必定である。

十月十八日の新聞に「IPS細胞から生殖細胞解禁」とあった。人間のES細胞やIPS細胞などから精子や卵子を作る研究について、文部科学省の専門委員会は十七日、基本的なみとめる方針で合意した。作製した精子と卵子で受精卵を作ることには委員間で賛否が分かれ、今後さらに審議するところ。到頭というかついにというか、人類はふみこんではいけない領域に向って進発進行するのか。アンチエイジングの世界では人間の寿命は二百歳と云われている。今や宗教も哲学も、その

レーゾン・デットルを失しない、社会秩序そのものが変質を余儀なくされること必定である。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

――*――*

先日私立中学・高校の体育祭を見る機会があった。女子中・高のそれは教職員の管理下のもので、とてもかわいらしかった。男女共学校では生徒自身の運営進行で行なわれた。リーダーの号令、それにしたがって入退場する子供達の歩き方、態度はテレと云うか、全体にアンニュイな感じが

あった。しかし男女混成のリレーは目をみはる迫力あふれるもので、女子の体力向上を実感した。つづいて私を瞠目せしめたのは学校名ゆかりの音頭であった。三百人のハイティーンのおどりは、まさに百花繚乱、浴衣姿がピタリと似合う日本人の美的センスを見る思いであり、子供達自身もおどりが進むほどに、心からのしんでいると見てとれた。つまりエイトビートでなく、二拍子・四拍子が日本音楽の基本であると思った。ヤートナソレ・ヨイヨイヨイである。

（一面より）
頂きました。

総額二兆円の定額給付金の支給などの前に、まずは社会保障費の削減をやめるべきではないかとのご意見も頂いたところであります。来年度から一般財源化する道路特定財源などからの充当も選択肢の一つに考えつつ、社会保障費

の抑制政策の転換を図るべきではないかとのご意見も頂いております。いずれにしろ医療者などの犠牲に頼ることなく福祉と負担の関係を国がしっかりと国民に示すことによつて社会保障費の一律削減を回避すべく、今後検討を進めていきたいと考えております。

このように、日本をとりまく内外情勢が一段と厳しさを増し、諸課題山積のなかで本年九月までには間違いなく解散総選挙が行われます。自民党にとつてきわめて厳しい戦いとなりますが、自民党に残された道はただひとつ、「政治は何をしているのか」という国民の皆さんのご叱責、ご

批判に真摯に応え、改革を果敢に断行するとともに強力な景気刺激策を実行して経済の活性化をはかつていくことであります。そして時代の変革に合わせて自民党の体質を変え、国民の視点に立った政治を行うことによつて失われた信頼を回復していかねばなりません。

最後に、「歯の健康力」増進や「新健康フロンティア戦略」などの先頭に立つておられる葛飾区歯科医師連盟の皆様、あらためて心よりの敬意と感謝の念を表し、一層のご活躍、ご発展をご祈念申し上げて私の近況報告とさせて頂きます。

（平成二十年十一月二十日記）

葛飾区歯科医師連盟会員の先生方へ

参議院議員 石井みどり



安定した国民の生活を守るためにも、是非とも自由民主党へのご支援をお願い申し上げます。

非、お地元の議員への温かいご支援をお願い申し上げます。

平素より葛飾区歯科医師連盟会員の先生方には格別のご支援、ご指導を賜っておりまして心から感謝申し上げます。

昨年後半、衆議院の解散総選挙があると言われ続けましたが、サブプライムローン問題に端を発した国際金融危機、100年に一度の金融災害ともいわれる金融危機への対処の必要性と共に実体経済への影響、特に景気対策のため、これまで延期されてまいりましたのはご存知の通りです。

衆議院の任期満了は9月ですので、いずれにせよ今年は衆議院総選挙の年となります。具体的な時期につきましては麻生総理が決定されることで

すが、政局ではなくまずは国民の生活を最優先で政府を挙げて実行していくことが必要だと考えます。

この国民歯科問題議員連盟は自民党の衆参合わせた国会議員386名中284名、実に7割を超える議院の参加を得ました。

これだけ大きな議連となりましたのは、ひとえに都道府県そして葛飾区歯科医師連盟の先生方を始めとする郡市区歯科医師連盟の先生方がお地元でそれぞれの国会議員をご支援頂いているからこそであります。

職域代表の意義は永田町で歯科医療政策を推進する窓口となり、多くの議員の理解と協力を得て実現していくことにあります。そのためには是非

一昨年の参議院議員選挙の結果からも歯科界に対する自民党の期待は高いと感じています。この実態を背景に、口腔保健法制定に関する事項が選挙公約に書き込まれれば、

同法の制定がより現実的となります。今後とも歯科界一丸となって一致団結し自民党へのご支援をお願い申し上げます。

本年は年末に診療報酬改定率が策定されます。診療報酬の改定率は税制と同様、政権与党でないと言及できません。野党に転落してしましますと、非常に厳しい事態に直面する可能性大だと思ひます。先生方のお力により国会に送り出して頂きましたのに、下野してしまつては職域代表としての務めを全うすることが困難となります。民主党の政策は一見良く見えがちですが、その実現可能性については大いに疑問があります。それは明確に財源を打ち出せないばかりでなく、反対するばかりで実現するための方策を打ち出そうとしない姿勢からも見てとれます。

例えば、政策を実行に移すには実際に影響を受ける関係団体等との調整等も必須となつてきますが、民主党の政策は利害関係にある団体からのヒアリングや根回し等、政策実現に必要な手順を踏んでおらず、主観的に「くだらない」という謂わば目標の域を出ていません。この状態で彼らの政策が実行されてしましますと、今以上に社会に混乱を来すのではないでしようか。財源についても「現在の特別会計を含む国の総予算を全面的に組み替え

最後に、「歯の健康力」増進や「新健康フロンティア戦略」などの先頭に立つておられる葛飾区歯科医師連盟の皆様、あらためて心よりの敬意と感謝の念を表し、一層のご活躍、ご発展をご祈念申し上げて私の近況報告とさせて頂きます。

平成二十年十一月二十日記

平沢勝栄代議士を囲む会

平成二〇年十一月十一日（火）午後8時から、葛飾区歯科医師会館で約1時間にわたり「平沢勝栄代議士を囲む会」が開催され、勝栄氏による国政報告が行われた。突然の案内ともあつて、予想を超える程の集まりではなかったものの、社会保障費の予算が年平均二、二〇〇億円の削減が国会を通つた影響を危惧してか、参加された先生方は、皆、真剣な眼差しで聴き入つていた。当日は、本連盟の小嶋一彰専務の司会進行のもと、川島一伸連盟副会長の開会の辞につづき、福田徳治連盟会長、根岸哲夫歯科医師会会長、高橋文夫学校歯科医会会長が挨拶され、待望の平沢勝栄衆議院議員の講演が始まつた。最後は、加藤静悟連盟副会長の閉会の辞で幕を閉じた。勝栄氏の国政報告は次のような内容であつた。



来られたことは過去にもあります。小淵さんも来られましたし、橋本龍太郎さんも来て、小泉さんも来られました。しかし、みんな選挙応援なんです。視察という形で来られたのは初めてだそうです。地域を総理に見てもらふことも大事なので、これからいろいろな機会を作っていくしたいと思います。

麻生総理について

十一月八日の土曜日、麻生総理が亀有に来られました。八月ごろ地元の方が招待状を出していたのです。漫画好きの方ですから、漫画の両さんの銅像のオープニングなら来てくれるかもしれないので出したそうです。総理はどうしようかとずいぶん迷つたようですが、折角の機会だからということで急遽来られることになりました。準備期間2日間であつたので、銅像の除幕式、その後、商店街を2時間程歩かれました。青木区長に聞きましたら、現職の総理が視察に葛飾区に来られたのは初めてだそうです。総理が

私が地域を回っていますと、いろいろ言われることが2つあります。1つは、解散はいつあるんですかということ。もう1つは、定額給付金はいつもらえるのかということ。これは、どちらも全くわかりません。まず、選挙はいつあるかということですが、それがなぜ延びたか。答えは簡単です。世論調査を十月の中旬にやってみたら、自民党にとつて極めて厳しい結果が出たものです。もし選挙を十月二十六日にやると選挙に負け、麻生さんは、1カ月ちよつとの内閣で終わってしまうわけです。一言で言え

ば、選挙が勝てないから、解散が打てなくなつたんです。勝てる時がいつ来るといっても、それは来るかどうかから、その時に解散しようといつても、これは来るかどうかから、かわからないし、このまま延ばせば延ばす程、もっと不利になるという方もおられます。下手すると、このまま任期満了までいつてしまふかもしれません。ともかく、勝てる時に解散しようというのが麻生さんの考え方ですが、勝てる時が来ない可能性も十分あるわけです。繰り返しますが、このまま選挙をやらないうで放つておけば、麻生さんは来年の九月までは総理大臣をやれるんです。麻生さんと福田さんの一番大きな違いは、福田さんは総理大臣をいやいやながらやつていましたが、麻生さんは楽しんでやつていくわけです。ここが大きな違いです。このままでは、少なくとも一年ちよつとぐらいは麻生さんはやれるんです。ところが、もし選挙に打つて出れば、そこで終わります。その可能性があるんです。ですから、麻生さんとしてもなかなか踏み切りがつかないんじゃないかと思ひます。

自民党の支持率アップに向けて―苦肉の策―

どうやって支持率のアップを図るか。これは大変難しいわけで、今、自民党に対して国民の皆さんが怒つておられるのは、まずは景気をしっかりとりたいほしいこと。中小企業は非常に困つていますし、商店街も困つています。アメリカ発の金融危機だ、だから日本だけの責任じゃないということはおかたしていても、何とか景気を良くしてほしい。これがまずありまして、加えて、後期高齢者医療制度もしっかりやってほしい。それから、年金について、払つてきた人にきちんと支払えるようにしてほしい。それからもう1つ言えば、税金のむだ使いをやめてほしい。こういうことがいろいろ重なつています。自民党に対する国民の皆さんの御批判には大変に根強いものがありまして、私は反省するところは深く反省して改めないと、自民党は選挙で厳しい批判を受けることになるんじゃないかと思ひます。こういった問題がいろいろありますから、簡単に状況が好転することはありませんが、そういう中で、麻生さんは追加の経済対策を発表したわけです。追加の経済対策で、五兆円の予算、これは国が使うので真水と言ひますけれども、そしてその中に融資の信用保証枠の拡大が入っていますから、実際の事業規模としては二十七兆円になります。その他には、介護の方は大変に苦勞されておられて、しかも、非常に給料が安いというところもあり、介護に従事されている方には、介護保険料を上げて二万円ほど手当を

アップしようということや、地方では週末の高速道路を最高一、〇〇〇円で乗り放題にしてあげようとか、いろいろな政策が打ち出されたんです。しかしその中の目玉は、国民の皆さんに二兆円の定額の給付金をあげますという、いわば一九九九年、小渕内閣のときに地域振興券を配りましたが、あれと同じような政策を打ち出したわけです。

定額給付金について

全国の人口は、一億二千万人ですから、二兆円を国民の人口で割りますと、大体一万六、〇〇〇円ぐらいになります。平均一万六、〇〇〇円を全員に配ると、高齢者の方とか、子供さんのおられる家庭はもっとお困りだから、一万六、〇〇〇円は平均だけけれども、それを一万二、〇〇〇円に抑えて、国民の皆さんには一万二、〇〇〇円で、お子さん方と高齢者の方がおられる家庭には加算して二万円



お配りしましょうと。そのことを麻生さんは十月三十日の記者会見で言われたわけです。そうしましたら、なぜ金持ちにも配るんだということになりまして、その後は迷走に迷走を重ねて判断は各自自治体に任せただけです。

地域振興券の時は、はつきりしているから配りやすかったんです。所得制限を設けた場合、この所得をどうやってつかむかという問題があるんです。というのは、税務署の情報というのは、本来の目的以外に使ってはいけないんです。市役所などにも、住民税などの情報がありますけど、これも他の目的には使えません。他の目的に使うためには、法律を変えなければなりません。全く情報を持っていない中で、どうやって所得を把握するかという問題がありますし、もう1つの問題として、去年までは確かに一定の所得はあったけど、その後リストラされて、今年は無

2つの目的と給付までの道のり

従って所得制限は設けないで全員に配ることになるでしょう。目的は、生活支援と、もう一つは景気対策と、この二つあるわけですが、使ってもらわないと景気対策にはならないんです。地域振興券のときは七、〇〇〇億配ったんですけれども、実際に使われたのは三分の一くらいです。なぜ使われなかったかというと、本来、購入するであろう野菜とか肉とかを地域振興券で買っていますから、現金が使われないで預金に回ったという形になったわけです。今回はクーポン券でなく現金ですから、景気対策としてはどうかとか、いろいろな意見が出ました。こういう中でほとんど煮詰まっていらない段階で発表してしまっただけです。どういう形で配るのかということも含めて煮詰まっていまませんから、混乱に陥ってしまったわけです。いずれにしろ、これを給付するためには法律を通さなければならぬんです。まず、一次補正予算案は通りましたけど、例えば高速道路の問題や、定額給付の問題、介護に従事している方の手当の問題やら何やらで、二次補正予算案を通さなければならぬ。これは通常国会の冒頭に通すということを言っているわけです。それに加えて、定額給付金という国民の皆さんにお配りする二兆円のお金については、特別会計に財政融資特別会計がありますが、その準備金を充てるということ

考えているわけです。そうしますと、そのための法律も作らなければならぬんです。これらの法律を通常国会の冒頭にかけて、通さなければならぬんです。当然、野党は反対します。まずは衆議院を通します。野党は参議院で反対しますから通りません。そうしますと、予算案は三十日で決まりますが、法律案は六十日間経過すると衆議院に戻ってきて三分の二で可決ということになります。従ってこれを通すためには最低でも六十五日から七十日間要するんです。だとすると、一月早々に通常国会を開いても、通るのは三月のギリギリになるわけです。しかもその間、解散が事実上できないということにもなりかねません。そして国会で通った後、各自自治体の議会で試案を通さなければなりません。

社会保障費に充当すべき

二兆円の財源を使うならば、社会保障費などに充てた方がいんじゃないかという議論が一方で強くありまして、私は、これはその通りだなと思います。二、二〇〇億円というのは、小泉内閣が財政健全化を優先させて社会保障費に切り込んできました。二〇〇六年の「骨太二〇〇六」の中で、二〇〇七年から二〇一一年までの五年間で社会保障費を一兆一、〇〇〇億円抑制する方針を決めたわけです。五年間で一兆一、〇〇〇億ですから、一年当たりは二、二〇〇億です。しかし、この削減には反対が強く、来年度から抑制をやめる方向で検討しています。そうした中で今年度は〇・三八%プラスです。そして、歯科診療の報

酬については、たしか〇・四二%だったと思います。診療報酬の本体については三〇〇億程、うち歯科診療は一二〇億円プラスになりますが、余りに少なすぎます。社会保障費全体としては、来年度八、七〇〇億円上昇が見込まれています。高齢者の方が増えていますから、社会保障費全体が増えるのは当たり前です。その中で、二、二〇〇億を削減してしまうので、すから、実際には六、五〇〇億の増しかありません。介護の方にも、医療などに携わっている方にも大変な御迷惑をおかけしてきました。繰り返しますけれども、もし二兆円配る財源があるなら、そちらに充てた方がいんじゃないかと私自身も思っています。

もう一つは、道路特定財源を来年度から一般財源化するということになっています。道路特定財源というのは五兆四、〇〇〇億あるわけです。そのうち暫定税率分というのが二兆六、〇〇〇億。今までは道路特定財源ということで道路関連に使われていたものが、来年度から一般財源化するということとは国民との約束です。そうはいっても、補修もありますので、道路に使う必要もあります。しかし、道路以外の目的に使う必要もありますので、二、二〇〇億だったところから出るんじゃないかという話も根強くありまして、私は全くその通りだと思っています。

今後の課題

歯科医師会の皆さん方には、診療報酬の問題もそうだし、また、歯科医師の数が多くなってしまったのではないかとというお話も前々からありまして、これらについては、歯科医師養成の大学について定数の削減をお願いしているところです。私立の大学は、経営の問題もあって、なかなか難しいところもありますが、厚生労働大臣と文部科学大臣の間の協定というか、合意ができている話でもありますので、そのラインで歯医者さんをこれからは少し数を減らして、質は今まで同じように守れるようしっかりと側面からサポートしていきたいと思っています。

後期高齢者医療制度の見直しについては、今や、誰も反対する人はいません。どんな制度でも問題がスタートしてからわかるどころか、あります。歯科医師会の皆さんの御意見をしっかりと聞かせていただきます。

葛飾区歯科医師連盟訪問記

～会員の理解と連盟活動～

都歯連盟常任理事 家田 隆 弘

平成二十年九月十二日、私こと家田隆弘は、都歯連盟常任理事として、都歯連盟勝保文良常任理事と二人で、葛飾区歯科医師連盟を地区訪問しました。

社団も都歯連盟もそうですが昨今非会員の増加が問題となっていてことは周知のことです。都歯連盟も会費の減少という現実鑑み、理事数の大幅な削減や細部の経費節約に努めています。そこで、都歯連盟の実情の説明と地区連盟の現状をお互いに理解しようという目的で、各地区支部・連盟を訪問しています。

さて当日は、都歯連盟の勝保常任理事が地元葛飾区歯科医師連盟の会員であることもあり、同連盟の定例理事会にもオブザーバーとして参席させていただきました。

会員数の多い当歯科医師連盟なので理事者も多く、熱心な中にもスムーズな理事会でした。福田会長挨拶のあと報告事項となり、葛飾区の新規事業等に関する区議との会合日程等多数の報告がありました。その後協議事項となり会員の褒賞及び広報紙の内容について協議が行われました。

理事会終了後、都歯連盟の財政問題や地区連盟の現状等について協議を行ないました。

葛飾区歯科医師連盟は都内の地区連盟の中では、その組織率及び会費徴収率は極めて高く、ほぼ一〇〇%に近い状況であり、都歯連盟としては、とくに対策を考える必要の無い優秀な地区連盟なのですが、その良い点の要因をお聞きするのが今回の訪問の目的です。

まず葛飾区歯科医師連盟は、ほぼ月一回の定例理事会を開催し、二年に一回会報を発行していることの説明がありました。また会費は口座振替としていくこともあり、このことが会費徴収率の高いことの要因と思われることや、ねたきり高齢者の歯科診療所「たんぽぽ」障害児・者の歯科診療「ひまわり」など葛飾区の歯科医師会委託事業が大きな成果を挙げていることを、会員が理解してくれていることも連盟組織率の高さの要因だと考えていると説明を受けました。

実はこのことが最も大事なことでと思います。つまり、

も、歯科医師会と一緒に協力してやってもらえるわけで、歯科技工士の皆さんの報酬についても、これからしっかりと取り組んでいきたいと思っていますので、どうかよろしくお願いします。

社団歯科医師会とともに連盟活動により、会員が実際に眼に見える成果を実感として享受しているということです。それが葛飾区歯科医師連盟の組織率の高さに現れている：：そういうことだと思っています。

当然のこととはいえ、会員の理解と協力あつての歯科医師連盟の組織であり、また社団歯科医師会の組織存在であるということのを再認識いたしました。

ひき続き日歯連盟と都歯連盟の広報活動と地区歯科医師連盟とのよりスムーズな情報交換のあり方等も協議、都歯連盟通信の逐次発行、そしてインターネットの都歯連盟ホームページも、毎日更新しているのでも少しは見えていたでくよう要請して閉会した。

今回は貴重なお時間を都歯連盟のために、割いていただきありがとうございます。都歯連盟としてはもちろんのことですが、それだけではなく、私個人としてもたいへん勉強になったことも感謝いたします。ありがとうございます。

今日の医療問題を考える

― 医師数増加の矛盾と 歯科医師数削減の命題 ―

神 代 達 司

「医師数は

決して少なくない」

ここ二・三年テレビや新聞紙上、いわゆるマスメディアで問題になっているのが小児科・産科そして救命救急医師不足でありそれによる地方の公的病院の閉院であります。

緊急を要する患者や妊産婦の医療機関での「タライマワシ」の結果の患者の「死亡」という悲劇をみるという社会状況が政治問題にもなる始末です。

小児科・産科そして救命救急の医師が、現在のわが国において果して不足しているのでしょうか。答えは「否」です。その証拠に昭和三十六年国民皆保険制度が導入されて以来、北は北海道から南は沖縄まで各道県に国立医科大学や国立大学医学部が新設され、さらに自治省や地方自治体による「自治医科大学」の新設により地方の医療格差や無医地域の解消に政治的に手を打ちました。又労働省によって「産業医科大学」が新設され労働衛生や労働者の健康管理に大いに役立つものと期待されました。

「自治医科大学の学生入学」には地方自治体に入学者定員を振り当て、しかも自治体は入学者に対して学費を全面援助をする。ただし卒業後三年間は地方に帰って来て地方医療に従事するという「し

ばり」がありました。これとて自治体からの学費支援を卒業時に一括して返還すれば「しばり」の義務は消滅するという「抜け道」がありました。

防衛大学や防衛医科大学でも同様でした。

従って大学設立の趣旨は大変立派でも結果的には「抜け道」だらけの「ざる法」であつたわけです。

然も今日の医師不足問題で最大の問題は「研修医制度」にあります。従来は医科大学を卒業するとインターン制度という研修医制度があり、二年間のインターンを終つて初めて医師国家試験を受験して医師のライセンスを取得する。しかもインターンの二年間は医科大学や医学部で研修を行い、地域や「僻地」の病院へは大学の医局から派遣するという制度でありました。

然し研修医制度が改正されて医学部六年修了と同時に医師国家試験を受け医師免許を取得する。その後の研修機関は大学に限らず条件の揃った施設であれば、民間の医療機関でも国公立の医療機関でもよいという制度が設定されました。

その結果医療施設の整った、そして海外留学経験者が多く最新の医療行為を行い、更に金銭的条件のよい都市型

病院に研修生は集まり、その結果大病院の医局に研修生は残らないのが実情なのです。決して医師不足ではありません。

もう一つの問題点は、患者の権利の主張の強要であります。特に小児科や産科、外科そして救命救急の場合、患者が助つて当たり前、若し患者側のトラブルがあつたとしても、それが全て医療のミスとして訴えられるという誠に困つた行為が急増しています。従つて医療側は「自己防衛」として医療行為の「萎縮」があるわけです。

医療側がいつの頃からか「患者さん」から「患者さま」になって、つまり「患者」から「お客さま」にしてしまつたことも今一度大いに反省すべきでしょう。

国は厚生労働省や文部科学省を中心にして医科大学や医学部の入学定員の増員を考えているようです。ある政党は定員の「五割増」さえ云い出しています。

その結果どうなるか、歯科大学や歯学部の入学生増員が学生の質の著しい低下をみるように、又司法試験合格者数の増加の結果にみるように決して医療担当側は勿論、国民にとつても良い結果をもたらすものではありません。今一度医師研修制度の見直しと大改革を訴うべきでしょう。

「歯科医師数の削減を
政治問題として」

筆者は昭和三十三年公立歯科大学を卒業しました。ある大学医学部の教養課程の二年を終え医学部専門課程に入学的の際、新たに多額の入学金の要求に残念ながら医学部入学を諦めました。

進路で迷っている時にある公立の歯科大学歯学部（専門課程）の入学案内が送られて来まして結局そこに入学いたしました。

筆者の学生時代は毎年全国の歯科大学の卒業生数は約八〇〇名程度、又高齢などで歯科医をリタイヤする数が約八〇〇名と、ほぼ同数でバランスがとれていました。

しかし昭和三十六年国民皆保険が制度化されますと国民の口腔衛生思想が高まり、歯科治療の需要が急増しました。その結果歯科医師数と患者数のバランスが大幅に崩れ、マスメディアを中心に歯科医療が取りあげられるようになりました。

マスメディア側の取り上げ方はだんだんエスカレートして、歯科医療トラブルが社会問題化され政治問題化されました。

それは今日の小児科医師や産科医師等の不足問題と同じでありました。

その結果、旧文部省や旧厚生省、更に既存の六歯科大学同窓会・校友会、そして国会議員をも巻き込んで全国に歯科大学や歯学部新設運動が起りました。

しかも旧文部省や旧厚生省は全国の医学部がある国立大学に積極的に歯学部の新設を計りました。その結果従来六校であつた歯科大学が二十九

校の歯科大学・歯学部が誕生しました。

今日、われわれ歯科医療が

低い評価の診療報酬に苦しみ、且つ患者数の減少に悩んでいるのは日本歯科医師会をはじめ全国の歯科医師が将来の展望も持たず、厚労省の言いなりに、又日本医師会の顔

事業報告

平成20年	3月22日	会田浩貞懇親会	25日	第95回都歯連盟評議員会	26日	鈴木一光新春の集い	28日	第102回日歯連盟評議員会	4月16日	平沢勝栄 葛栄会総会	5月9日	平成19年度会計監査	6月12日	江東七地区連合会総会	13日	広報部会	21日	葛飾区歯科医師会移動理事会	28日	よい歯の集い	8月4日	自民党区議との折衝	6日	公明党区議との折衝	22日	葛飾区区議会議長秋本こうたろう氏葬儀	9月7日	元葛飾区歯科医師連盟会長 柳沢信道先生葬儀	25日	平沢勝栄「国政報告会」	30日	都歯連盟評議員会	10月22日	平沢勝栄「政経セミナー」	31日	役員会	11月11日	平沢代議士を囲む会	14日	広報部会	12月13日	葛飾区学校歯科医会会員表彰	17日	葛飾区学校歯科医会移動理事会	19日	葛飾区歯科医師会移動理事会	平成21年	1月9日	広報部会	12日	先輩に感謝する会	29日	東京都歯科医師連盟 躍進の集い	2月6日	第1回選挙管理委員会	8日	倉沢よう次 新年会	10日	野上純子 新春の集い	14日	清水ただし新年会	16日	樺山たかし新春の集い
-------	-------	---------	-----	--------------	-----	-----------	-----	---------------	-------	------------	------	------------	-------	------------	-----	------	-----	---------------	-----	--------	------	-----------	----	-----------	-----	--------------------	------	-----------------------	-----	-------------	-----	----------	--------	--------------	-----	-----	--------	-----------	-----	------	--------	---------------	-----	----------------	-----	---------------	-------	------	------	-----	----------	-----	-----------------	------	------------	----	-----------	-----	------------	-----	----------	-----	------------

新しき葛飾へ

葛飾区歯科医師連盟 加藤静悟

本年は、先生方にとりまして、重要な選挙が、四つ控えております。連盟といましては、会員の先生、ご家族の方、スタッフの方が、麻生総理の乱行にご立腹され、投票を棄権なさらないようにと切に願っております。

まず、七月には東京都議会議員選挙があります。葛飾区から、自由民主党のかば山たかし議員、鈴木一光議員他二名が出ており、今大活躍されています。次に

色をみながら「卑屈」に生きてきた結果の姿だと言えます。

新設の国立大学歯学部の廃止又は入学定員的大幅の削減や、私立大学での二歯学部の本化等々従来より声を大にして云ってきましたがその成果はまだ実らない。今こそ大

英断をもって改革し定員の大削減を行わなければ、日本の歯科医療の未来はなく暗澹たるものである。

医師の医師数が政治問題としていと同様、歯科医師数の削減もマスメディアを通じて社会的にも政治的にも取り上げるべきだと思います。

九月任期満了となる衆議院議員選挙が、時期未定（一月現在）ですが、行なわれます。葛飾区に住み、葛飾区を愛し、葛飾区歯科医師会を誰よりも理解する数少ない貴重な平沢勝栄議員には絶対当選していただかなければなりません。又、十一月には、葛飾区長・区議会議員選挙があります。今回も同日選挙になると思われま。区議会は、自由民主党議員団の、倉沢よう次区議団幹事長を中心とし、

池田ひさよし区議会議長により、強固なまとまりを示しております。このように現在、葛飾区は、都議会、国会へ太いパイプを構築致しております。このパイプを切ることはないようにしていただきたいと願っております。

さて、交代の時期がきた葛飾区長は、時代に逆行した人選を絶対にさげなければなりません。今後、出馬する区長候補に細心の注意を払っていく所存です。

これから先生方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

コーヒープレイク

朝の過ごし方

昨今、ビジネスマンたちの間では早起きしてすいた電車でゆっくり通勤し、仕事の前に英会話、スポーツジムなどに通たり、ゆつくり朝食を摂るのがトレンドだそう。それを当て込んで朝6時から診療している歯科医院もあるとか、早起きは三文の徳とはこのことか？

私も年とともに早くに起きるようになってきた。とはいえ通勤もないのでせいぜいたまに散歩するくらいか。せっかく早起きしてもテレビのワイドショーは同じニュースを3回4回繰り返すばかり。せいぜい今日の占いに一喜一憂するくらいで三文の徳にはありつけそうにない。最近、少しはまっているのは、NHKのBS1のワールドニュースアワー。

朝5時15分から6時までアメリカCNN、イギリスBBCから中国、韓国などなど世界各国で放送したニュースを日本語音声で放送する番組。

もちろん語学に堪能な私たちは原語もオーケーの二ヶ国語放送です。

当然、欧米のニュース番組にわが日本のニュースが報道されることなどあまりないようです。さすがにアジアではときどきあるようです。特に中韓では比較的高頻度。もつとも、良い話は少ないようです。同じニュースでも国によってとらえ方は随分違ってくる。

日本人で2008年11月11日が第一次世界大戦の90回目の終戦記念日であったことを知っている人はあまりいないでしょう。それほど

日本では話題にならなかつたからですが、ヨーロッパでは悲惨な近代戦争としての教訓から大きなイベントになったようです。フランス国内ではサルコジ大統領が英・チャールズ皇太子ら近隣諸国の要人とともに激戦のかの西部戦線の跡地にある墓地で大々的な式典を行い、イギリス国内ではなんと108歳から112歳の3人の当時の兵士を国民が英雄として祝福し式典に迎えるなど戦勝国ではかなり盛大に催し、一方では敗戦国のドイツは女性首相がフランスにはいかず、ポーランドで地味に祝い。ロシアはこれをニュースとしては扱わが、国としては何もせず、この戦争自体を古い体制の出来事と考えていた。従つて、それぞれの国によって対応がまったく違っているようです。

CNNではサブプライムローンよりもオバマのほうが先にくることが多いのは国民性か。世界的不況では各国がいろいろと公的資金の注入を検討しているが、ドイツでは自動車税を2年間無税にすることが議論されている。日本のような選挙むけのばら撒き給付金よりはるかに考えた政策に思えるのは私だけであろうか？ロシアでは原子力潜水艦の事故をニュースとして大きく取り上げており、こうしたことがニュースになること自体にこの国の体制の変化を感じたりもする。

わたしたち零細企業の歯科医は、ともすればこんなことには無頓着になりがちですがたまには世界の広さを知るのも楽しいものです。

深瀬 道法